

促進計画を策定しました

町では、幌延町耐震改修促進計画を策定しました。

これは、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第5条第7項の規定に基づき、地震被害を未然に防ぐため、既存建築物の耐震診断及び改善を推進するための計画です。

計画期間は平成20年度から27年度までの8年間です。

この計画では、幌延町の過去の地震被害等を振り返り、想定される被害を明示し、その被害を未然に防止するための建築物の耐震化を図ることとしています。目標として、本町の耐震化率67%（平成20年度）を90%（平成27年度）にすることとしています。

目標に向かっての取り組みとしては、①相談体制及び情報提供の強化、②耐震診断の支援制度、③木造住宅の耐震化助成制度、④国、道の支援制度の活用、⑤地震時に通行を確保すべき道路の指定、⑥総合的な建築物の安全対策の推進となっています。

個々の施策は以下の概要をご覧ください。
地震は、突然襲ってきます。激しい揺れによる家具などの横

幌延町耐震改修計画の概要

1 計画の概要

1 計画の目的

- ①建築物の耐震改修の促進に関する法律の規定に基づく計画
- ②地震による建築物の倒壊等の被害及びこれに起因する町民の生命・身体財産の被害を未然に防止する
- ③町内における建築物の耐震性の向上を図る

2 計画の位置づけ

「幌延町地域防災計画」を上位計画として、既存建築物の耐震改修に関する施策を示す

3 計画の期間

平成20年度から27年度までの8年間

2 町周辺の想定地震

（幌延町役場周辺における想定）

- ①留萌沖地震……………マグニチュード：7.0 / 計測震度：3.2
- ②活断層による地震
 - ・増毛山地東縁断層帯…マグニチュード：7.0 / 計測震度：3.8
 - ・サロベツ断層帯……………マグニチュード：7.6 / 計測震度：-
 - ・幌延断層帯……………調査中
- ③全国どこにでも起こりうる直下の想定地震
 - ・～マグニチュード：6.9 / 最大計測震度：6.0
 - 震度階級：震度6強～5強

3 人的等被害の想定

海溝型地震、活断層型地震、全国どこにでも起こりうる直下型地震の3つの最大震度を重ね合わせた地震を想定し、その想定最大震度で算定

①人的被害者数

・死者数：1.2人 / 重傷者数：2.6人 / 軽症者数：42.1人

②建築物被害

	全壊棟数	全半壊棟数	計	全体棟数割合
木造建築物	104棟	233棟	337棟	37.3%
非木造建築物	6棟	16棟	22棟	11.1%
計	110棟	249棟	359棟	32.5%

4 耐震化の現状と目標

①住宅

耐震性有と推計棟数	耐震化率	目標耐震化率	耐震改修棟数
木造	546棟	63.8%	
非木造	118棟	91.4%	
計	664棟	67.4%	90%以上 214棟以上

②特定建築物（多数の者が利用する建築物）

目標耐震化率：90%以上

- ・幌延小学校……………平成20年度耐震改修済
- ・問寒別小中学校……………平成21年度耐震改修実施
- ・幌延町公民館……………平成22年度建替え（生涯学習センター）
- ・幌延町総合体育館……………平成21年度耐震診断

5 耐震化促進の施策

①各主体の役割

自助（所有者）・共助（建築関連事業者）・公助（幌延町）の協働

②環境整備

- ・相談体制及び情報提供の充実
- ・耐震診断の支援制度
- ・木造住宅の耐震診断助成制度

③啓発、知識の普及

- ・地震・防災マップの作成等、パンフレット等情報提供
- ・町内会等との連携

④耐震診断

- ・改修を担う人材の技術力向上